

A method of impregnating and drying a resin paper

Publication Number: S57-35095
Publication Date: 1982. 2. 25
Inventor: Sadahiko INOUE (JP)
Takeshi TOMISAKI (JP)
Applicant: Matsushita Electric Works, Ltd. (JP)
Application Number: S55-110037 1980. 8.11

Abstract

This reference discloses a method of impregnating and drying a resin paper comprising the steps in the following.

- (a) Impregnating a paper base material with varnish of a thermosetting resin.
- (b) Wetting the paper base material with steam.
- (c) Drying the wetted paper base material.

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—35095

⑤ Int. Cl.³

D 21 H 1/40

B 05 D 7/00

D 06 N 7/06

識別記号

庁内整理番号

7107—4 L

7048—4 F

7180—4 F

⑬ 公開 昭和57年(1982)2月25日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ レジンペーパーの含浸及び乾燥方法

⑮ 特 願 昭55—110037

⑯ 出 願 昭55(1980)8月11日

⑰ 発 明 者 井上定彦

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑱ 発 明 者 富崎武士

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

⑲ 出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

⑳ 代 理 人 弁理士 石田長七

明 細 書

1. 発明の名称

レジンペーパーの含浸及び乾燥方法

2. 特許請求の範囲

(1) 紙基材にワニスを含浸させ、次いで上記紙基材を蒸気により加湿し、さらに加湿された紙基材を乾燥させることを特徴とするレジンペーパーの含浸及び乾燥方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は紙基材へのワニスの浸透性を向上させることができるレジンペーパーの含浸及び乾燥方法に関するものである。

従来においては、第1図に示すように、紙基材(1)をワニス(2)を充たした含浸槽(3)や塗布機に送り、紙基材(1)を含浸槽(3)に浸漬し、紙基材(1)の表裏面からワニス(2)を含浸させ、次いでその紙基材(1)を乾燥機(6)に送り乾燥させた後、紙基材(1)を切断機(8)により適当な大きさに切断してレジンペーパー(7)製造するものであるが、ワニスの粘度が高い場

合や紙基材に厚紙を使用する場合にワニスを紙基材へ十分に浸透させることができないという問題があり、また紙基材にワニスを含浸させた直後に乾燥させるのでワニス内の溶剤分がすぐに飛んでしまい多量の溶剤が必要であるという問題があつた。本発明は上記問題を解決することを目的とするものである。

以下本発明を実施例によつて詳述すると、第2図において、紙基材(1)をロール(A)(B)(C)によりワニス塗布機(3)に送り紙基材(1)の片面または両面より熱硬化性樹脂のワニス(2)を浸透させ、次いでその紙基材(1)をワニス塗布機(3)と乾燥機(6)との間に設けた加湿機(4)に送つて蒸気により紙基材(1)を加湿し、さらに加湿された紙基材(1)を乾燥機(6)によつて乾燥させた後、切断機により紙基材(1)を適当な大きさに切断して化粧板の製造に供するものである。尚、上記ワニス塗布機(3)に替えてワニス含浸槽を用いてもよい。また各種紙基材によつて必要なワニス量を確保して効率よくワニスを紙基材へ含浸させることができるように塗布機により紙基

材へのウニス塗布量を調節し、加湿機内の雰囲気温度100℃まで湿度を100%までコントロール可能な加湿機を使用すればよい。

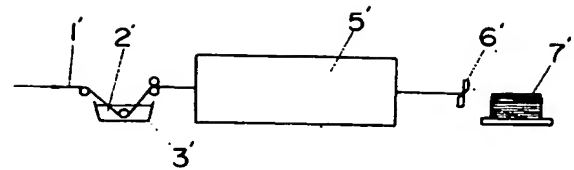
本発明は上記のように構成されたもので、ウニスを含浸させた紙基材を蒸気により加湿することにより紙基材に浸透したウニス内の溶剤分の蒸発を防ぐと同時に紙基材に蒸気加熱しているのでウニスの粘度を下げることになりウニス内の溶剤分が蒸発する前にウニスを紙基材に十分に浸透させることができ、ウニス溶剤の削減を図ると共にウニスの浸透性を向上させることができるという効果がある。このことによつて従来問題となつていた高粘度ウニス及び厚紙の使用が可能となりウニスが十分に紙基材に浸透した性能の良いレジンペーパーを製造することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の方法を示す概略図、第2図は本発明の一実施例の方法を示す概略図である。

(1)は紙基材、(2)はウニス塗布機、(3)はウニス、(4)は加湿機、(5)は乾燥機である。

第1図



第2図

